

# 第4号議案

令和4（2022）年度 事業方針及び計画（案）

\*法人の目的、経営目標、事業所目標、支援及び指導における基本方針、重点目標までは共通項目となる。各部にて共通項目を抑えた上で、令和3年度の目標を立案し、具体的行動計画（案）を作成していく。

<参考資料>

## 1 法人の目的

・この社会福祉法人は（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるように創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

### (1) 第二種社会福祉事業

- ・障害福祉サービスの経営
- ・障害児通所支援事業の経営

## 2 経営の原則等

・この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

・この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、（地域の高齢者、子どもたち等々）を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

## 3 経営目標

- (1) 農林業を主軸とした労働の提供を行い、発達を先導する労働実践を行う。
- (2) 自立社会参加を目指して、豊かな心と社会性を育てる活動を行う。
- (3) 支援員及び指導員一人ひとりの専門性の向上を図る。
- (4) 地域住民に対して障害児者への理解を促進させるための啓発活動を行う。
- (5) 利用者一人ひとりのニーズを把握し、一人ひとりの将来を見据えた事業展開を行う。

## 4 事業所目標

- (1) 個々の実態に応じた支援及び指導を行い、個々の潜在的な能力が十分発揮できるように取り組む。
- (2) 個別支援とグループ支援の運動性を高め、豊かな人間関係の構築を目指す。
- (3) 支援員及び指導員同士の共通理解を図り、利用者が主人公としての適切な事業所運営を行う。

\*様々な諸会議や研修等、直接に仲間たちや子どもたちとかがかわらないところでの支援及び指導のあり方又は基本的な構え等が仲間たちや子どもたちを主人公として深めていくための目標、手立てを考える。

## 5 指導及び支援における基本方針

- (1) 基本的な生活習慣の安定を図る取り組みを推進する。
- (2) 労働意欲を高める取り組みを推進する。
- (3) 創造的思考を高める取り組みを推進する。

\*1～5までは各部共通

## 6 重点目標

- (1) 実践を通して、法人の特徴を創造し、その特徴を活かした支援及び指導体制の確立を目指す。  
～簡潔なスローガンを考える。
- (2) 利用者、保護者、事業所、関係機関等々との連携を図り、一人ひとりの適切なニーズ把握を行う。
- (3) 共通理解された課題の獲得に向けたプロセスを実践し、科学的検証を試みる。
- (4) 地域との連携を推進する。
- (5) 安心、安全な事業所運営を目指す。

\*上記重点目標は各部共通とする。

#### 7 令和4（2022）年度目標

- (1) 支援スタイルの確立を目指す。(支援デザイン、個別支援計画、支援案等々の作成)
- (2) 内部研修及び外部研修の充実を図る。(発達を保障すべく理論学習の推進)
- (3) 実践報告集(年度まとめ)を作成する。
- (4) 保護者との連携を進める。(サロン及びまとめの会等)
- (5) 地域主催の行事等への参加及び事業所主催の行事への勧誘を図る。
- (6) 防災計画の充実を図る。
- (7) 第1期10ヵ年計画(H24～R4)の総仕上げを計画する。  
～本館及び西館の活用方法の模索
- (8) 第1期5ヵ年計画(R5～R10)の立案を行う。  
～社会福祉充実計画に沿った形で進める。

#### 8 具体的行動計画案

- (1) 支援スタイルの確立を目指す。
  - ・生活介護及びデイについては、それぞれの特徴を明らかにしつつ、取り組みの変遷をまとめ上げる。  
⇒前期「骨子作り」⇒具体的分担案作成  
⇒後期「作成」⇒修正、完成へ
  - ・B型については、令和5年度以降の取り組みを見据え、ごうでいんぐの目指すものをまとめ上げる。  
⇒前期「骨子作り」⇒他部から学ぶ  
⇒後期「作成」⇒修正、完成へ
  - ・支援案等については各部各取り組みを進めるにあたって、必ず、1回は案を作成し、事後検討会を実施することとする。進めるにあたっては、支援案をケース会議にて確認し、実施後、同様にケース会議にて検証をすることとし、それら一連の諸記録をまとめておくこととする。なお、支援案に基づき実施を映像として記録し、その映像を事後分析する方法でも可能とする。  
⇒前期提出  
⇒後期提出
- (2) 内部研修及び外部研修の充実を図る。(発達を保障すべく理論学習の推進)
  - ・各部より参加させ、指導員並びに支援員の資質向上のために職員としての基本的構えを学ぶ。(私たちが大切にしたい障害者支援のためのガイドライン) \*繰り返し学ぶ。
  - ・実践研修の随時導入(各部交換研修の導入) \*それぞれが意見交換し長短を検証する。
  - ・外部研修として、サビ管研修(更新研修)、専門相談員初任者研修(更新研修)、強度行動障害基礎研修又は実践研修、虐待防止研修、県発達障害者センター主催の研修、人間発達研究所主催の研修、全障研主催の研修、きょううさん主催の研修、その他の研修へ積極的に参加していく。
- (3) 年度まとめを作成する。⇒まとめの会にて発表する。
- (4) 月1回のサロンの継続を図る。⇒今後のサロンのありかたを検討する。

- (5) 神戸地区町内会及び各種団体との連携を模索し、少しずつ、地域と連携した行事等を企画、活動を  
実現していく。⇒町内会、福祉推進会との連携を模索する。
- (6) 新たな場所における避難訓練に慣れつつ、地域と連携した防災活動を模索していく。
- (7) 本館及び西館の活用方法を模索する。⇒基礎集団のありかた、集団間のかかわりかた等々
- (8) GHの調査研究を進める。\*相談員との連携 (GHの情報収集)

<年間計画(案)> (支援及び指導を中心に)

月	全体	就労継続支援 B 型	生活介護	放課後等デイサービス
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>*実態把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*実態把握</li> <li>*新事業開始(カフェ暫定的にオープン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*実態把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*実態把握</li> </ul>
5月	個別支援計画の再調整 <第1回コンサル(予定)>	個別支援計画の再調整	個別支援計画の再調整 ・仲間集団及び把握体制の見直し	個別支援計画の再調整
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の安定化</li> <li>・実習生受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の安定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の安定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践の安定化</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の過ごし方の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の過ごし方の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の過ごし方の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の過ごし方の検討</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期まとめ作業</li> </ul>
10月	<第2回コンサル(予定)> ・福祉まつり・実習生受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期個別面談</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大掃除</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>
2月	・後期まとめ作業 <第3回コンサル(予定)> ・実習生受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まとめ作業</li> </ul>
3月	・年度まとめ面談 ・次年度方針及び事業計画作成	・年度まとめ面談 ・次年度方針及び事業計画作成	・年度まとめ面談 ・次年度方針及び事業計画作成	・年度まとめ面談 ・次年度方針及び事業計画作成

## 防災訓練等 令和4(2022)年度計画(案)

日程(案)

項目	日時	目的	備考
第1回火災想定訓練	令和4年5月11日(水) ・生活～午後3時 ・B型～午後3時 ・デイ～午後3時	① 火災時の避難における守ることの確認 ② 避難ルートの確認 ③ 人員配置等及び安全確保の方策確認	・事前支援 ・事後支援
風水害想定訓練	令和4年6月9日(木)	安全確保の方策確認	
送迎時地震想定訓練	令和4年7月(各部設定)	安全確保の方策確認	・送迎コースの安全確保のあり方検討
第1回地震想定訓練	令和4年9月1日(木) *炊き出し訓練及び引き渡し訓練	① 地震時における守ることの確認 ② 避難ルートの確認 ③ 人員配置等及び安全確保の方策確認 ④ ライフライン壊滅時の対応確認	・生活及びデイ～引き渡しカードの作成及び確認 ・発電機始動 ・安否確認訓練
第1回不審者対応訓練	令和3年9月30日(金)	① 不審者対応における守るべきことの確認 ② 人員配置等及び安全確保の方策確認	・通常時における戸締りについての検討
第2回火災想定訓練	令和4年11月1日(火) (火災報知器点検含む) *社会福祉施設防災の日	① 第1回訓練以降の課題に対する実施内容の確認 ② その他	・抜き打ち訓練 ・水消火器訓練
緊急時対応訓練	令和4年11月(委員会設定)	① 感染症対策及びその予防措置の確認	・支援員及び指導員対象
第2回地震想定訓練	令和4年12月16日(金)	① 第1回訓練以降の課題に対する実施内容の確認 ② その他	・発電機始動
第2回不審者対応訓練	令和5年1月23日(月)	① 第1回訓練以降の課題に対する実施内容の確認 ② その他	・未定

\*各詳細については実施1ヶ月前の運営会議にて報告し、確認を行う。

\*発電機に関しては毎月必ず安全店実施の際に試運転を実施する。

\*地震想定訓練において、安否確認を実施する。

\*地震想定訓練において、送迎中を想定し実施する。

どうでいんぐ岩世ケ原 通所生活介護  
令和4年度事業方針及び計画(案)

《基軸》

- ・ 基本的な生活習慣の安定を図る取り組みを推進する。
- ・ 労働意欲を高めるより組を推進する。
- ・ 創造的思考を高める取り組みを推進する。

《重点目標》

- ・ 指導支援を通して法人の特徴を創造し、指導体制の確立を目指す。
- ・ 利用者、保護者、事業所などと連携を図り的確なニーズを把握する。
- ・ 共通理解された課題を実践し科学的検証を試みる。
- ・ 地域連携
- ・ 安心、安全な運営を目指す。

上記を基本とし

1、グループ支援プログラムの充実

- ・ 労働(畑、山、洗車、環境ボランティア等)
- ・ 委託作業(清掃・除草等)
- ・ 創造的活動(音楽療法、アート、季節の飾り等)
- ・ 調理実習(昼食作り、おやつ作り)
- ・ お茶や生け花・習字等の文化的活動
- ・ 感謝祭に向けた活動
- ・ 新規活動プログラムの追加

2、個別支援の確認(修正・追加・変更等)→個々の能力を伸ばす取り組み

- ・ 個別ノートの充実(単一でない個々に向けた取り組み)
- ・ 支援員間のコミュニケーションを密にする。(伝達ノート、ケース会議等の充実)
- ・ 保護者とのコミュニケーションの充実。(サロン、連絡帳、送迎時の情報交換等)
- ・ 個々の能力の確認。(常に柔軟に対応する)

3、地域との関わり

- ・ コロナ禍における外部活動のありかたの再検討
- ・ 環境ボランティア(地域のゴミ拾い)の継続
- ・ 公共機関の使用におけるマナー学習(図書館の利用や買い物体験等)
- ・ 感謝祭のチラシ配りに関する地域の方とのコミュニケーション
- ・ 外活動の際の挨拶

《1～3実施予定月》

- 4月～ 実態の把握及び前期個別計画の実施
- 5月～6月 検証・修正を行い必要な場合はサビ官へ報告し修正・変更等を行う。
- 6月下旬～7月 夏季の過ごし方の検討を行う。
- 8月～9月 前期個別支援計画のまとめ。
- 10月～1月 後期個別支援計画の検証と修正。
- 2月 年度まとめ。
- 3月 次年度の準備。

参考：その他活動計画予定

- ・ 4月新規利用者入所
- ・ 7月以降実習生受け入れ
- ・ 9月、2月コンサルテーション

※令和4年度は新規に2人の利用者とB型より4人の移動がある。新規利用者のうち一人は今のところ金曜日のアートのみの利用だが、毎週通い仲間達と同じ空間で活動を行なう。

4月より西館の利用が本格的に開始する。  
それに伴い次年度は各グループの支援目的が以下のようにそれぞれ異なっている。

＜グループ別支援＞





基本的な生活習慣の安定を図る取り組みにウエイトを置いたグループ

労働意欲の向上を図る取り組みにウエイトを置いたグループ

上記二つの取り組みをバランスよく組み込んだグループ  
の3グループである。

西館は労働意欲の向上を図るグループとし、B型より山と委託作業の一部を引き継ぎ行なう事になる。

職員は1人増えるが活動グループが増え、一グループごとの支援人員は限られる。職員一人一人の力が重要となる。また、建物が離れることもあり情報の共有も大切となる。常にコミュニケーションを取り、仲間達の安定を一番に考え職員全員で支援する気持ちを持ちたい。

所長	サビ管	事務長	報告者
			

どうでいんぐ岩世ヶ原就労継続支援 B 型 令和 4 年度運営方針

【目標】

1. 仲間一人一人が安定した基本的な生活習慣を築くことができ、自分の生活を少しずつ管理できるようになる。時間を意識した生活が送れるような支援方法を探る。
2. グループ作業により仲間一人一人が「できること」「得意なこと」を見つける。
3. 仲間が共同して「できる作業」を探る。
4. 目標工賃平均 6,000 円 売上 40,000 円/1 か月

【年度計画】

4 月：①1 日の生活の工程が仲間自身で取り組める支援方法を探る。

登所後、個々人が一日の始まりを意識し、やるべきことができるようにする。

- ・タイムカード打刻
- ・荷物整理
- ・朝礼
- ・作業準備

②カフェ作業の確立

1 ヶ月に 2 回のランチ提供⇒第 2.4 金曜日 (6,000 円\*2 回=12,000 円)

1 ヶ月に 6 日のパン製造

⇒1 日 2 回転を週に 1~2 回、1 ヶ月に 6 回

(3,000 円\*2 回転\*6 回=3,6000)

調理とパン製造合計 4,8000 円

③農業

じゃが芋 (前年度 2 月植え)・さつま芋 (5 月植え) の栽培計画

④委託作業

⑤作業の標準化を図る 作業内容において工程表の作成

10 月：前期の計画課題を継続していく。⇒工賃の向上計画

作業において「できること」「得意なこと」を一定時間取り組みができる方法を探る。

【行事等】

外部関係事業所見学研修を実施できる状況となった場合計画を行う。





《基軸》

- ・ 基本的な生活習慣の安定を図る取り組みを推進する。
- ・ 労働意欲を高める取り組みを推進する。
- ・ 創造的思考を高める取り組みを推進する。

《重点目標》 前年度継続

- ・ 支援指導を通して法人の特徴を創造し、指導体制の確立を目指す。
- ・ 利用者、保護者、事業所などと連携を図り適切なニーズを把握する。
- ・ 地域連携
- ・ 安心、安全な運営を目指す。

1. グループ支援プログラムの充実

- ・ 壁画作成、立体作品の作成 (利用者主体)
- ・ 創造的活動 (音楽、劇、ダンス、歌、など)、
- ・ 畑作業
- ・ 調理実習
- ・ イベントに向けた活動 (子供の日、感謝祭、ハロウィン、クリスマス会、誕生日会など各種イベント)
- ・ 卒業課題 (高等部3年生を中心としたミニトマトの栽培～収穫)

2. 個別支援計画の修正、追加、変更の確認を充実 (個々の能力を伸ばす取り組み)

- ・ 個別ノートの見直し。充実を図る。
- ・ 指導員同士のコミュニケーション作りを図る。

3. 外部地域住民との関わり

- ・ 公共機関や外部イベントを計画 (まちセンを借りて、ダンスやスポーツをする) をしたいが、コロナ禍において制限されることが多いため、地域周辺の環境ボランティアなどを継続する。

<今後の予定>

4月～ 実態を把握し前期個計に沿った教材等を準備し、独自性を組み込んだ使い回しをしない内容の課題等を準備していく。

5月～6月 検証、修正を行い必要な場合は児童館へ報告し追加や変更、修正を行う。(3ヶ月のまとめ)




7月～8月 夏休みの等のイベントに合わせ計画の充実を図る。

9月 前期個計、方針の中間報告まとめ。(3ヶ月のまとめ)

10月～1月 後期個計の検証と修正 (3ヶ月のまとめ)

2月 年度のまとめ。

3月 次年度の準備。 (3ヶ月のまとめ)

所長	事務長	報告者
		

## 令和4年度 研修委員会年度計画

目的：職員が障がいに対する共通理解を持ち、知識、質を高めていく。  
 研修報告をするにあたって職員の知識を広め、共通理解をする。

委員会での活動

### ①資料集め

○委員会内でテーマを決めて掲示資料を準備する。

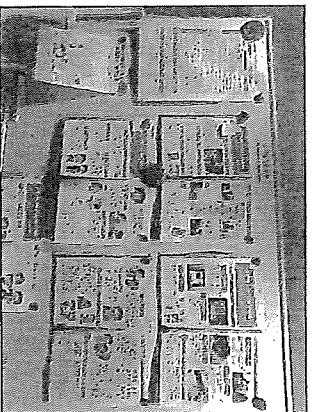
資料：障害者関係の文献 新聞記事 ネットニュースなど

- ・みんなのねがいの活用
- ・資料集めに関わった職員より、内容の紹介
- ・掲示板の貼り替え
- ・過去の資料はフレイジングし回覧

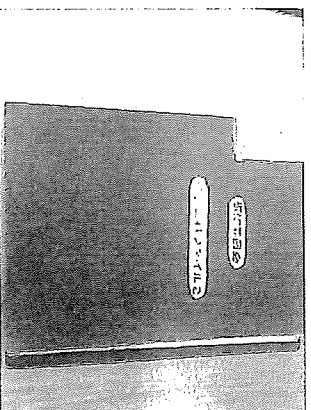
### ②研修の報告会

外部研修(ゲームの研修含む)に参加した職員に依頼し、委員会内で報告会を実施してもらう。

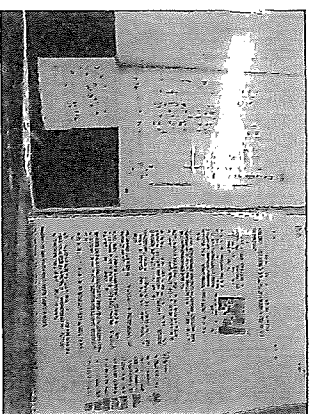
必ず委員会内で実施した内容は、各部に持ち帰り会議報告し全職員に周知するようにしていく。







研修委員会 掲示板



資料フレイル



所長	事務長	報告者	報告者
			

## 労働創造委員会 令和4年度運営方針

テーマ：令和4年度第1回労働創造委員会にて決定するため現在未定

活動目標：令和4年度第1回労働創造委員会にて決定するため現在未定

仮 説：令和4年度第1回労働創造委員会にて決定するため現在未定

活動内容：

### 1. 労働的活動

合同作業：3部門において目標を決めて一定期間中で活動を行う。

### 2. 創造的活動

令和3年度に作成した「翔」の文字の作品に合わせ表現を行う。

→「飛」の文字を作成する予定

### 3. 継続作業

・デザイン：帰りの掃除の継続

・生活：環境ボランティアの継続

・B型：今後の事業運営に合わせていく

### 4. 新規取り組み

支援場面において支援員の介入度を減らす(フェードアウト)ため、活動の工程分析を行い、仲間たちの「壁」を考える材料(工程表)を作成する。




## 生活保健委員会令和4年度活動計画(案)

テーマ：「健康で楽しく過ごそう！」(テーマは継続)

### 年間活動計画(案)

- ・お便り「えみへる」の発行  
R4号とし、冬に1回の発行とする。  
※配布報告として各部に回覧する。
  - ・感染予防の注意喚起  
状況に応じて公的機関より発行される感染症予防関係リーフレットを配布し、注意喚起を行う。  
※配布報告として各部に回覧する。
  - ・AED講習の提案  
コロナ禍で講習は開催が危ぶまれるが、中止になった場合でも勉強会等を計画催する。
    - ・嘔吐処理に関する活動(点検・補充・訓練・職員への指導等)
    - ・薬事情報の整理
    - ・緊急時対応訓練 てんかんについての対応訓練  
事前に委員会において、てんかんについての知識を学習しまとめる。  
まとめたものをもとに各部で学習時間を設け訓練とする。
- 配布物配布後の報告や活動で得た情報を各部署職員へ回覧し活動及び知識の共有を図る。

令和 4年2月14日

所長	事務長	報告者
		

議案者 海老澤 亜衣

## 令和3年度 広報委員会事業内容

今年度は主にB型のカフェの販促物や外部用のPR動画の作成を行った。これまでのように生活介護のアートや音楽療法の動画をアップすることはできなかったが、ホームページのアクセス数は前年度と同じように推移した。

### 今年度の広報委員会の役割

1. ぞうでいんぐ岩世ヶ原の事業内容の周知
2. B型の商品イメージ定着や販促物の制作

### R3年度 事業成果

1. ホームページ、FB更新 (お知らせ)
2. B型 昨年度1月よりスタートしたB型パン作りのPR (動画・画像作成、シール、チラシ作成、カフェ内販促物)
3. R3 7.30～ 育成会事業所説明会上映用パワーポイント、動画作成
4. R3 11.3 ミニ感謝祭での看板・ポツナなどの作成
5. R4 1.21公開 福祉まつり、動画・パネル製作 (生活・B型)
6. R4 1.10 成人の祝いの会 撮影・記念品作成

### R4年度 事業予定

1. 新パンフレットの作成 (生活増員・B型事業内容修正)
2. HP修正 (生活増員・B型事業内容修正)
3. 西館PR (FB、HP更新)
4. カフェを一般向けに開店できるように準備 (のれん、のぼり旗、シヨツプカードなど)、PR (FB、HP更新)